

## ⑫ 公開特許公報(A)

平2-229339

⑤ Int. Cl.<sup>5</sup>E 04 B 1/24  
1/58

識別記号

3 3 1 J  
F

庁内整理番号

7121-2E  
8913-2E

⑬ 公開 平成2年(1990)9月12日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全2頁)

⑭ 発明の名称 柱梁剛接合構造

⑮ 特 願 平1-48245

⑯ 出 願 平1(1989)2月28日

⑰ 発 明 者 津 森 勉 大阪府大阪市西区阿波座1丁目5番16号 大和ハウス工業株式会社内  
⑱ 出 願 人 大和ハウス工業株式会社 大阪府大阪市西区阿波座1丁目5番16号  
⑲ 代 理 人 弁理士 橋爪 英彌

## 明 細 書

## 1. 発明の名称

柱梁剛接合構造

## 2. 特許請求の範囲

1. H形鋼の柱のフランジの内面間に渡されたスティフナーのバイブスリーブと、該バイブスリーブがその両端の各々に沿って固定されそれ自体前記柱のウェブに固定される略コ字状のスティフナーの本体と、前記柱のフランジの外面に設けられた梁との接合手段と、該接合手段を柱のフランジに固定し該フランジ及び前記バイブスリーブを貫通して挿入される長締めボルトとからなる柱梁剛接合構造

## 3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明はH形鋼の柱についての柱梁剛接合構造に関するものである。

(従来の技術)

従来のH形鋼の柱について柱梁剛接合を達成するには柱のフランジ間にスティフナー、リブ等を

溶接する必要があることが多かった。

(発明が解決しようとする課題)

本発明は以上の従来の課題を解決し溶接作業を不要にしたH形鋼の柱についての柱梁剛接合構造の提供を目的とする。

(課題を解決するための手段)

本発明は以上の目的達成のために

1. H形鋼の柱のフランジの内面間に渡されたスティフナーのバイブスリーブと、該バイブスリーブがその両端の各々に沿って固定されそれ自体前記柱のウェブに固定される略コ字状のスティフナーの本体と、前記柱のフランジの外面に設けられた梁との接合手段と、該接合手段を柱のフランジに固定し該フランジ及び前記バイブスリーブを貫通して挿入される長締めボルトとからなる柱梁剛接合構造

を提案するものである。

(作用)

(1) 本発明の構造は特にスティフナーが柱のフランジの内面間に長締めボルトにより装着されるた

め溶接作業が不要である。

(2) 本発明の構造は特に長締めボルトを用いるため梁との接合手段にて反力が作用しなくなり該接合手段のコンパクト化が可能となる。

#### (実施例)

以下本発明の柱梁剛接合構造を図面に示す実施例に従い説明する。

第1図及び第2図は本発明の構造を示し、該構造はH形鋼の柱(1)のフランジの内面間に介装されたスティフナー(4)を有する。

該スティフナー(4)は柱(1)のウェブに固定される略コ字状の本体(5)及び該本体(5)の両端の各々に沿って固定されフランジの内面間に渡されたパイプスリーブ(6)を有する。

該パイプスリーブ(6)に対応する柱(1)のフランジには孔(8)が設けられる。

一方柱(1)のフランジの外面にはスプリットティー(3)等の梁(2)との接合手段が設けられる。

該接合手段は柱(1)のフランジの孔(8)及びスティフナー(4)のパイプスリーブ(6)を貫通して

挿入される長締めボルト(10)により柱(1)のフランジの外面に固定される。

次に前記スプリットティー(3)等の接合手段には梁(2)が取り付けられるのである。

以上の実施例に示した本発明の柱梁剛接合構造の機能は次の通り。

すなわち梁(2)からの力は柱(1)のフランジに伝わるがこれはスティフナー(4)のパイプスリーブ(6)に伝えられる。

この力はパイプスリーブ(6)から本体(5)を経て柱(1)のウェブに伝わる。

すなわち梁(2)からの力は柱(1)のウェブに伝わり剛接合が達成される。

#### (発明の効果)

本発明の柱梁剛接合構造の実施例は以上の通りでありその効果を次に列記する。

(1) 本発明の構造は特にスティフナーが柱のフランジの内面間に長締めボルトにより装着されるため溶接作業が不要である。

(2) 本発明の構造は特に長締めボルトを用いるた

め梁との接合手段にて反力が作用しなくなり該接合手段のコンパクト化が可能となる。

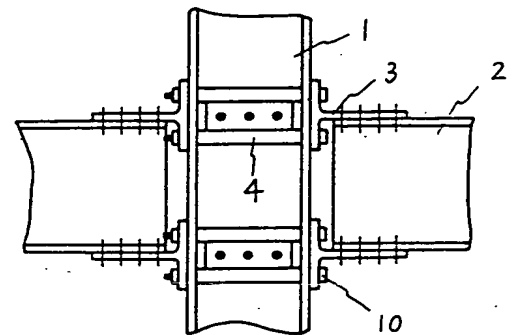
#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の構造の正面図

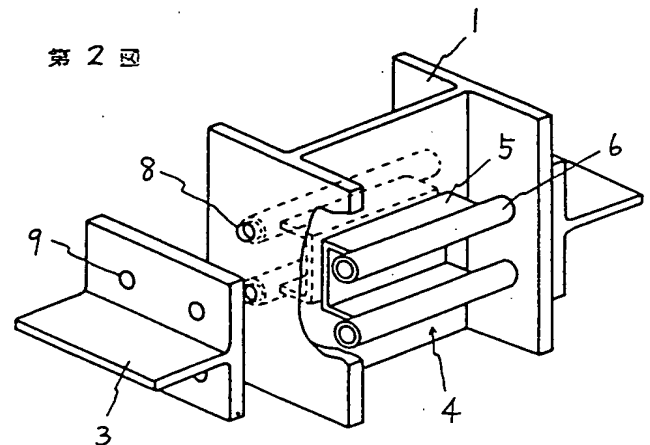
第2図は同上斜視図

- |             |            |
|-------------|------------|
| 1: 柱        | 2: 梁       |
| 3: スプリットティー | 4: スティフナー  |
| 5: 本体       | 6: パイプスリーブ |
| 8: 孔        | 9: 孔       |
| 10: 長締めボルト  |            |

第1図



第2図



出願人 大和ハウス工業株式会社  
代理人 橋爪英弼